

ニセイシバイゴケ

Tuerckheimia svihlae (Bartr.) R.H. Zander

兵庫県ランク… B

環境省ランク… —

■ 県内分布

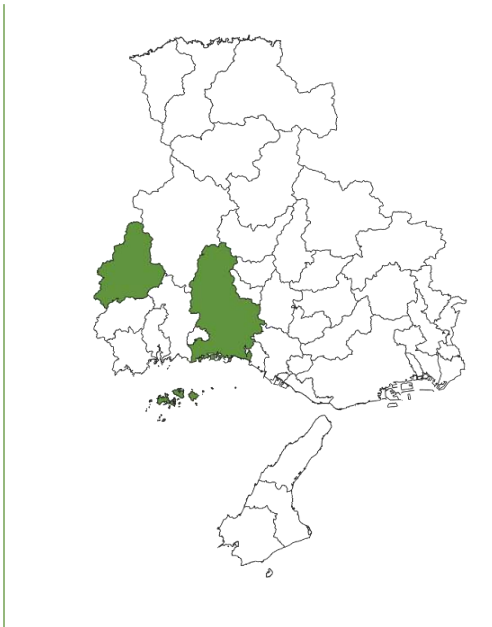
姫路市、佐用町

■ 国内分布

本州、四国、九州

■ 選定理由

人為性		特殊性		学術性	
生育環境破壊		特殊生育環境	○	特殊な分布	
観賞用等採取		特異な生態		分布の限界	
				希少	○



■ 特記事項

—

■ 保護上の留意点

—

■ 種の概要

茎は単一かまれに分枝し、弱い中心束をもつ。葉は線状披針形で、長さ3-4mm、鋭頭。葉縁は平坦からパピラがあって細鈍鋸歯状。中肋はわずかに突出し、突出部は平滑、透明、横断面で背腹にステライドが発達する。葉身上から中部の細胞は方形から六角形、輪郭は細かく多数に分岐した大型のパピラのために不明瞭。葉身のKOH反応は黄色。雌雄異株。雌花序は茎に頂生。雌苞葉が基部で急に広くなり鞘状。蒴は楕円体から短円筒形、長い嘴のある蓋をもつ。蒴歯と口環がない。石灰岩地にはごくふつうに生育するが、それ以外の場所ではまれ。